

Prinovaグループの成長戦略について

長瀬産業株式会社

2021年11月22日

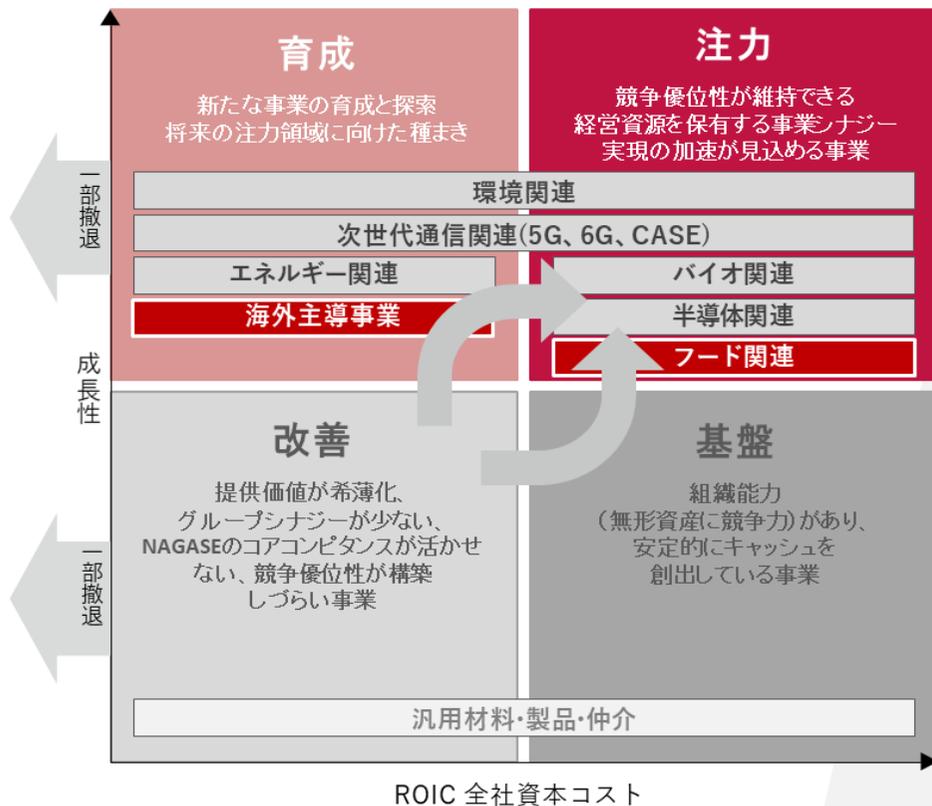
中期経営計画 ACE 2.0 Prinovaグループの位置付け	P3
Prinovaグループの会社概要	P4
Prinovaグループの強み	P5
Prinovaグループの事業概要	P6
ビジネスモデル(サプライチェーン)	P7
買収～PMI～現在までの状況	P8
NAGASEグループ力の活用	P9
ACE 2.0 成長戦略	P10～P16

- ・ フード関連事業は **ACE 2.0** における注力領域の一つである。
- ・ 海外主導事業への取り組みも将来の成長に向けた重要な施策である。

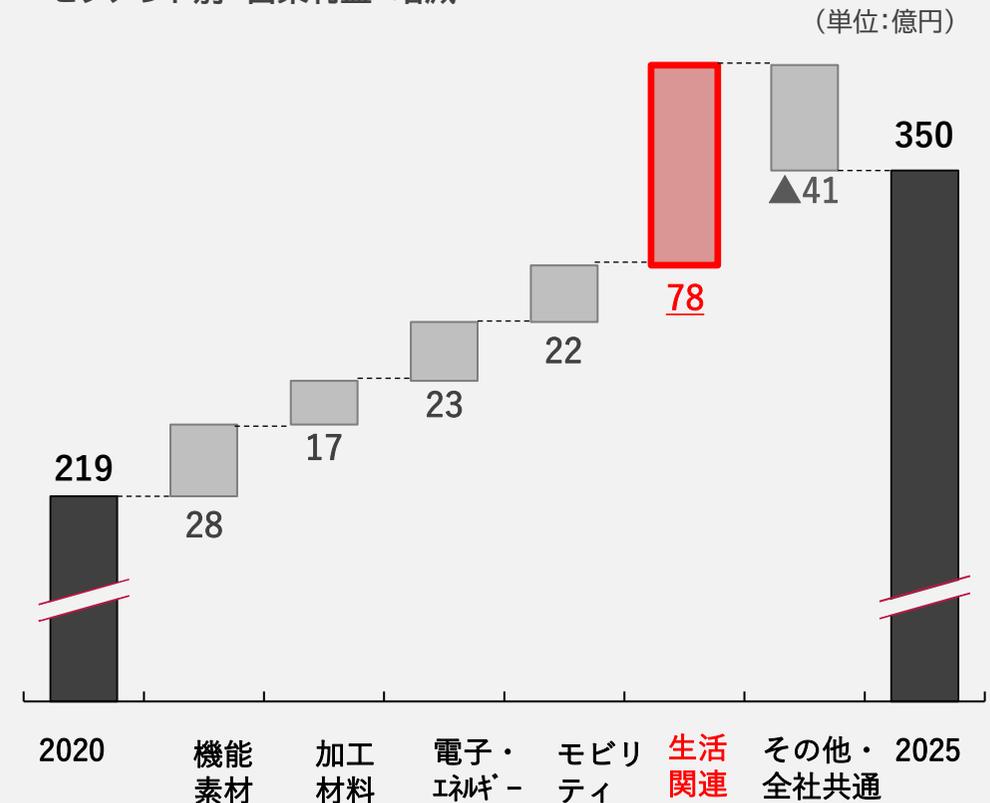
- ・ フード関連事業が含まれる生活関連セグメントの成長においてその中核となる会社が

Prinovaグループ

事業ポートフォリオの考え方



セグメント別 営業利益 増減



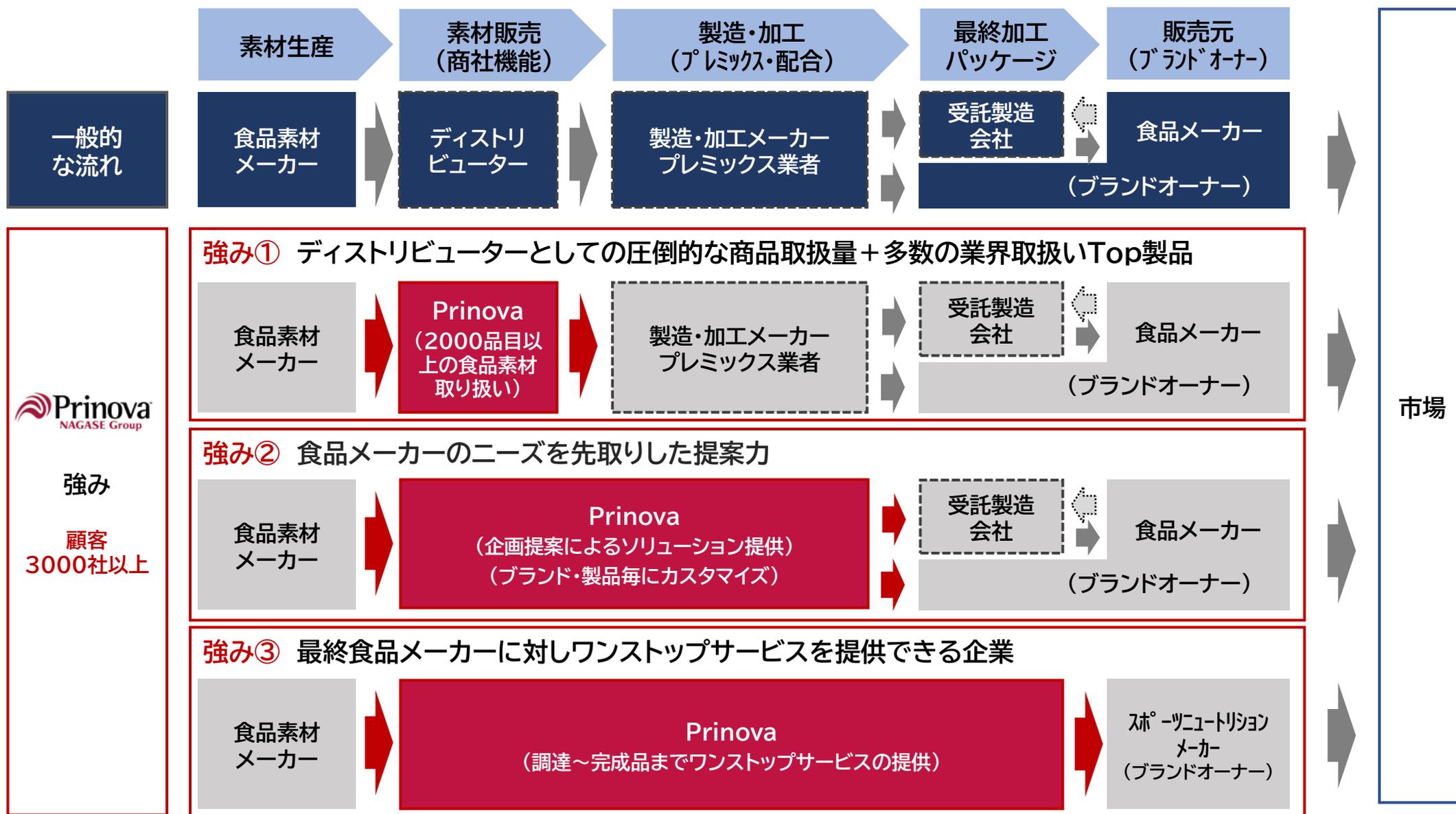
Prinovaグループの会社概要



会社名	Prinova Group LLC
本社	米国イリノイ州(シカゴ近郊)
創業	1978年
事業規模	売上高：866億円 営業利益：47億円 (2020年12月期)
従業員	約1,200名(9月末現在)
製造拠点	米国(4)、英国(1)、中国(1)
販売拠点	米国、英国等 11カ国
取扱品目	食品成分(ビタミン、アミノ酸等) フレーバー素材、プレミックス及び 受託製造(スポーツニュートリション)
事業内容	食品素材・フレーバーの販売、 プレミックス品の製造・加工、 受託製造



- ・ グローバルトップクラスのニュートリション素材ディストリビューター
- ・ プレミックス加工・フレーバー加工・最終製品OEM製造機能を保有（米・欧・中）



強み

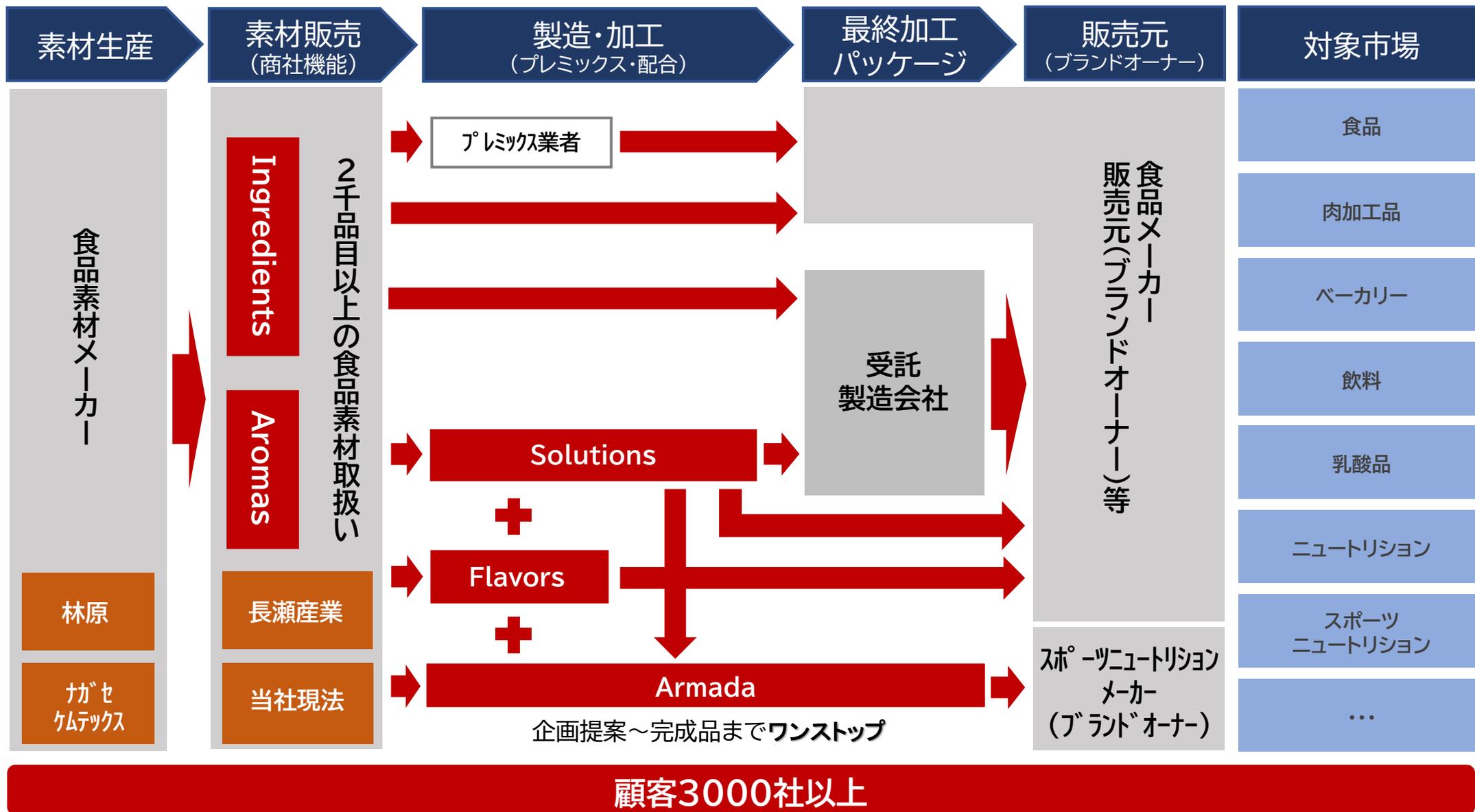
顧客
3000社以上

Prinovaグループの事業概要

	機能	価値	付加価値	競合他社	アプリケーション・主な事業・主要取扱品
Flavors 	製造	専門の調香師が開発する確かなフレーバーを提供(グループ内製造の付加価値)	高 ↑ 機能が充実することで付加価値が高まる ↓ 低	少 ↑ 機能が充実することで競合が少なくなる ↓ 多	【アプリケーション例】 製菓(グミ、チョコ、キャンディ等)、飲料(清涼飲料等)、乳製品(アイスクリーム、ヨーグルト)、製パン(ミックス粉)
Armada 	栄養食品開発、製造ソリューション	企画提案から完成品製造までワンストップでソリューションを提供			【主な事業】 スポーツニュートリションの企画・処方/フレーバー設計・品質保証・レギュレーション対応から最終製品製造まで担う
Solutions 	配合品(Premix)・微細加工(OEM)	プレミックスや微細加工を担い、豊富な素材を組み合わせ、顧客ニーズに合わせソリューションを提供			【主な事業】 液状のカスタマイズプレミックス、アミノ酸プレミックス、ビタミン・ミネラルプレミックス
Aromas 	ディストリビューション	香料などを食品・ニュートリション市場へ安定供給			【主要取扱品】 香料、エッセンシャルオイル、アロマ素材
Ingredients 	ディストリビューション	2000品目以上の食品素材を食品・ニュートリション市場へ安心の品質・価格にて安定供給			【主要取扱品】 ビタミン類、アミノ酸、有機酸、食物抽出物、甘味料、うま味調味料、増粘多糖類、栄養強化剤、リン酸塩類

ビジネスモデル(サプライチェーン)

素材調達からプレミックス・微細加工・最終製品製造までサプライチェーン全体を網羅



2019

8月Prinovaグループ買収

PMI開始

- ・13のWorking Group設置
- ・PMIメンバー約90名結集



ガバナンス構築

- ・経営体制・権限・規程見直し
- ・管理会計・CMS導入
- ・内部統制システムを導入し、有効性を確認

グループシナジー創出

- ・林原、ナガセケムテックス製品の販売開始
- ・原料の集中購買によりコスト削減
- ・アジア展開に向け、各地域と協業開始

営業利益

2019年度実績
約40億円

2020

DXへの取組み開始

- ・マーケティングプラットフォーム構築



- コロナ渦、スポーツジムの閉鎖等を受け、Armada事業は低調に推移
- 一方、健康志向の高まりを受け、食品素材の需要が伸長し、コロナ渦においても増益

2020年度実績
47億円

2021

ガバナンス構築

- ・内部通報窓口設置

M&A

- ・北米有数の甘味料専門ディストリビューター買収

キャパ増強

- ・Armada事業の新工場設立開始

デジタルマーケティング開始

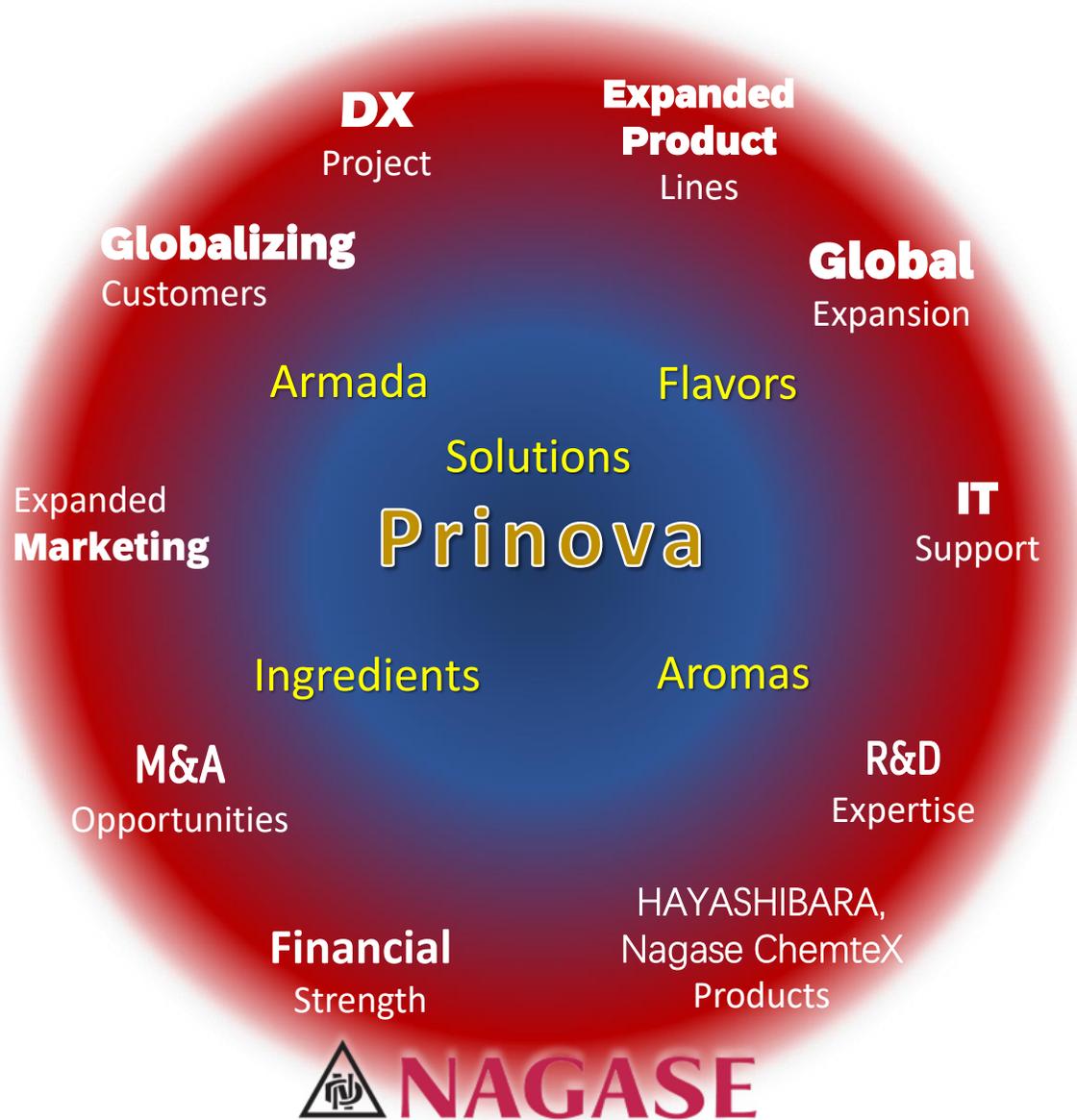
- ・顧客体験型WEBサイトをリリース

- スポーツジムの再開等を受け、Armada事業の業績が回復
- 市場全体として供給難の状況下、Prinovaの調達力・スピード等を活かし、新規ビジネス等も獲得し、業績伸長

2021年度見通し
70億円

※上記数値はPrinovaグループの業績となり、連結時に発生するのれん等の償却費は含みません。
※2019年度営業利益:M&A関連の特殊経費除く

戦略的ビジョン



2032年

(長瀬産業創業200年)

グローバルな製造・販売拠点と垂直統合されたサプライチェーンネットワークを持つPrinovaグループは、お客様と協力し、革新的な技術とこれまでにないカスタマーサービスを提供し、世界に食糧を供給し、より健康的な生活を実現します。

2025年

Prinovaグループは、NAGASEのネットワークとグループ力を活用し、グローバルな成長を続け、市場を拡大し、既存事業に加え買収等も通じて製品提供を強化していきます。

また、オンラインでの存在感を高め、優良サプライヤーとの関係を構築しながら、利益率の高い付加価値サービスにおいて顧客との強力な関係を構築していきます。

製造・加工事業の拡大

- ◆ 欧米市場において既存顧客取引拡大・新規顧客獲得
 - ・グローバル対応力・**調達力**・**スピード**を強みとし、大手ブランドとの取引拡大かつ新規顧客獲得
- ◆ 顧客ニーズに合わせ配合技術・フレーバー技術・製品形態などを拡充
 - ・Armada事業：現状のパウダー・カプセル品に加え、**多種多様な顧客ニーズ**に対応
 - ・Solutions事業：液状・粉体・粒径カスタマイズなど**多種多様な顧客ニーズ**に対応
- ◆ M&A・製造・生産能力増強
 - ・新たな付加価値の獲得、生産能力の増強を推進
 - ・取扱い品目の増加および優良顧客の獲得などにより、ビジネスプラットフォームを拡充

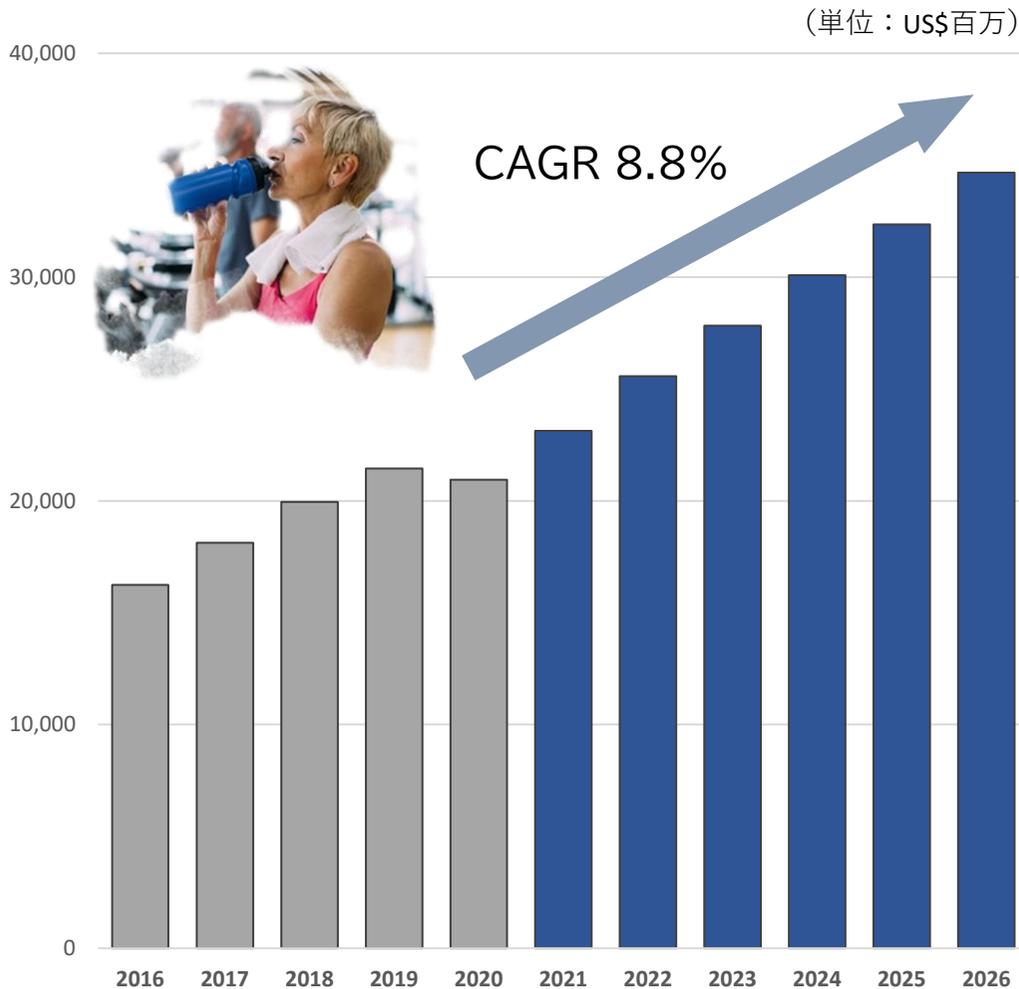
グループシナジー創出

- ◆ NAGASEグループの**林原製品**の欧米での拡販、
林原の機能性素材などのSolutions・Armada事業への展開
- ◆ NAGASEグループのグローバルネットワークを活用し、
Prinova取扱い商品のアジア・中南米での販売を促進



スポーツニュートリション市場はグローバルで伸長していく見通し

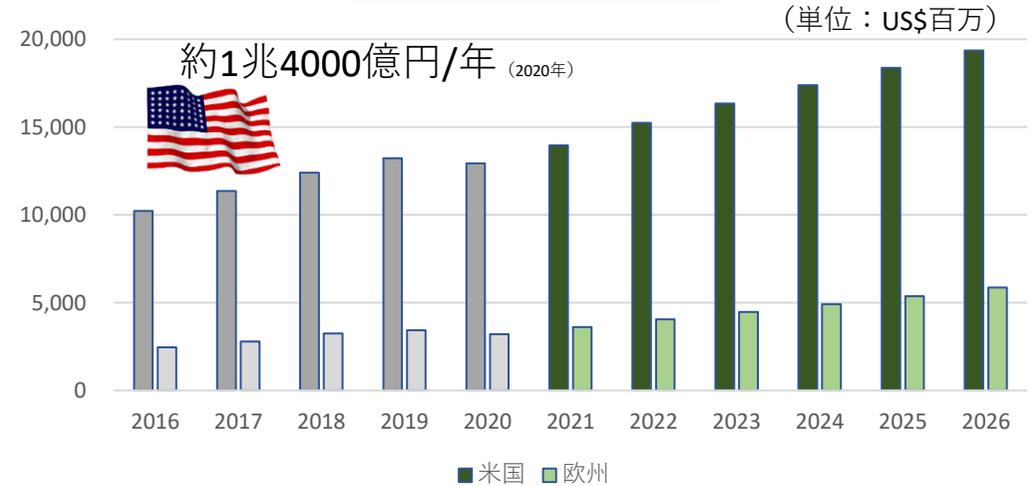
グローバル 市場規模



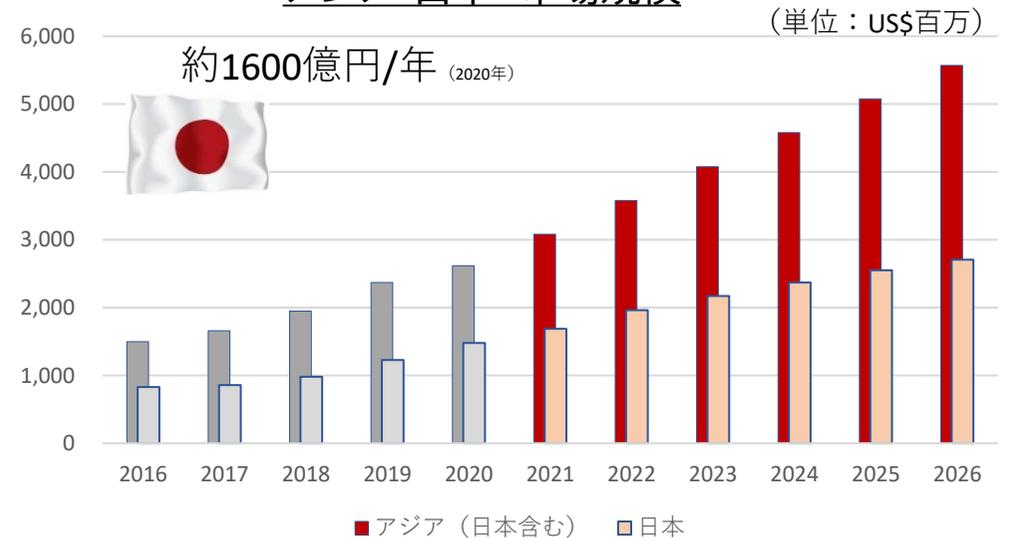
※出展：Euromonitor

※グローバル、欧州およびアジア市場規模については、一部地域を除く

米国・欧州 市場規模



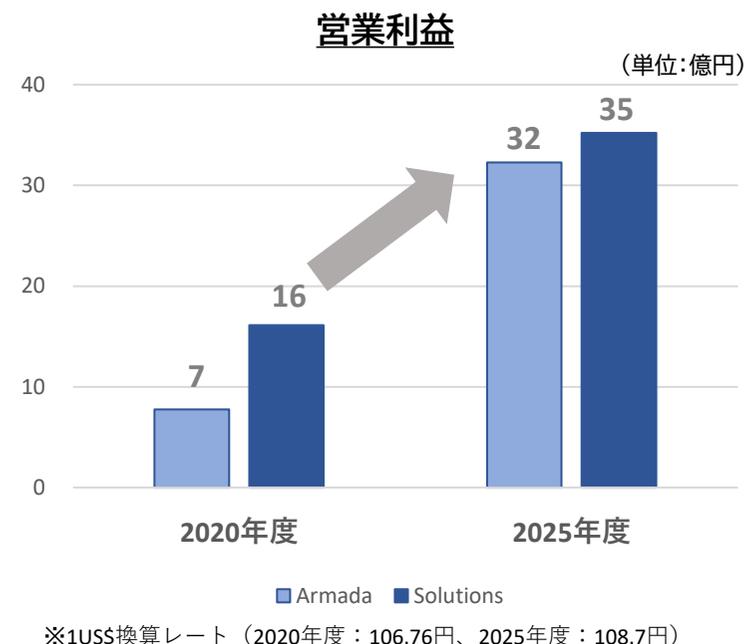
アジア・日本 市場規模



1 米国ユタ州への新工場設立開始(Armada事業) 2022年 春稼働

- ・ 既存の工場(テネシー州)の稼働率が高水準で推移
- ・ スポーツニュートリション市場が拡大していく中、Armada事業の製造能力を増強
- ・ Premix品などSolutions事業へも展開検討

	現工場 (テネシー州)	新工場(Phase 1) (ユタ州)
生産規模	約700MT/月	約700MT/月
売上規模	US\$約190百万	US\$約190百万
面積	約31千㎡	約40千㎡



2 北米において有数の甘味料専門ディストリビューターThe Ingredient Houseを買収

- ・ 食品・飲料メーカー向けに甘味料を販売する北米で有数のディストリビューター
- ・ 飲料関係など大手ブランドの優良顧客を獲得し、飲料領域へのビジネス拡大機会を獲得
- ・ Prinovaグループが取扱う約2000種の素材をさらに拡充させ、Ingredients事業の顧客層を拡大
- ・ 基盤である Ingredients事業の取扱い品目を拡充させることで、Solutions事業およびArmada事業における提案の幅を広げ、提供価値を増強



グループシナジー創出



欧州Solutions事業拠点
(イギリス)

林原製品
ナガセケムテックス製品
日系メーカー取扱い商品



中国Solutions事業拠点
(常州)

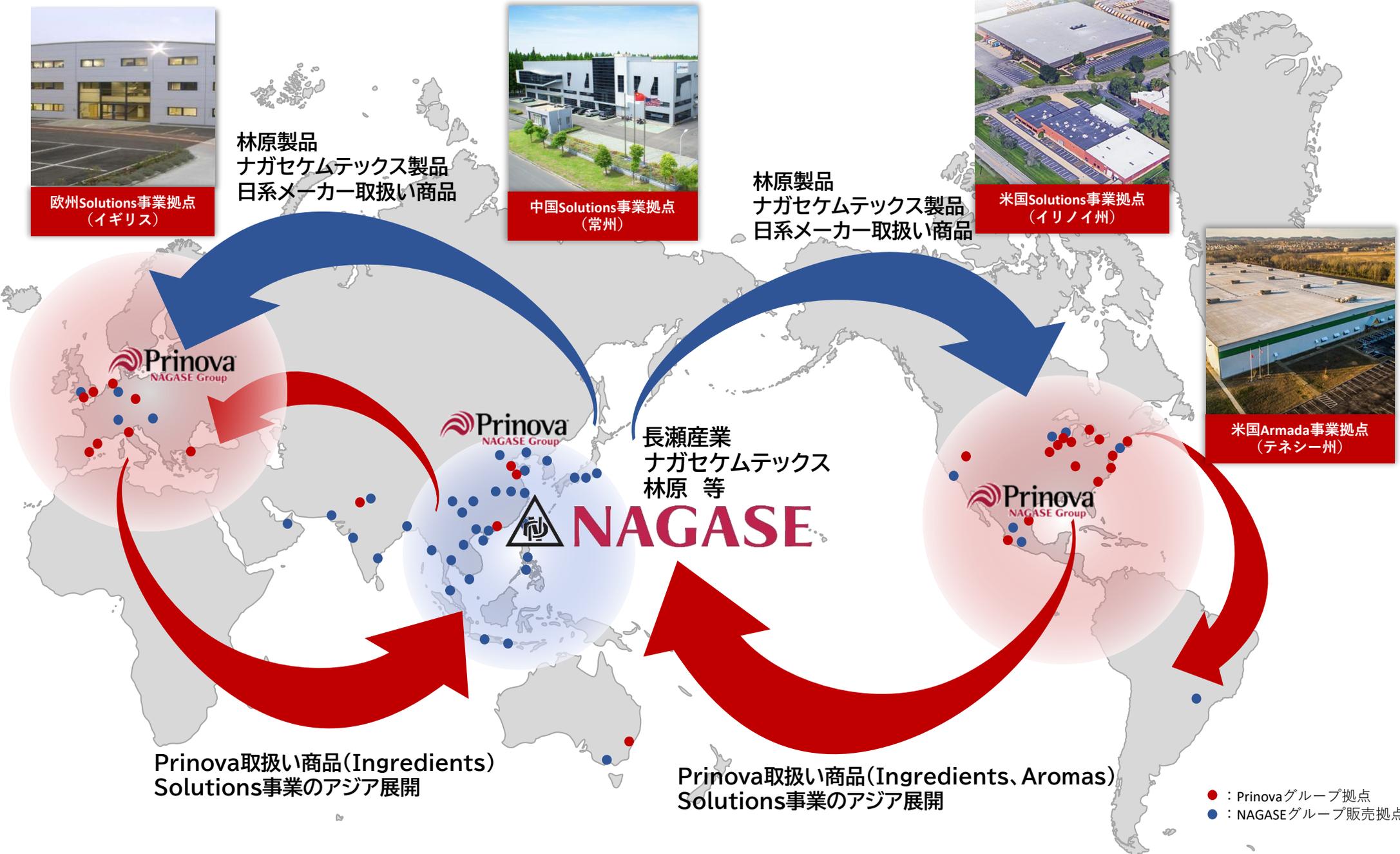
林原製品
ナガセケムテックス製品
日系メーカー取扱い商品



米国Solutions事業拠点
(イリノイ州)



米国Armada事業拠点
(テネシー州)



Prinova取扱い商品(Ingredients)
Solutions事業のアジア展開

長瀬産業
ナガセケムテックス
林原 等

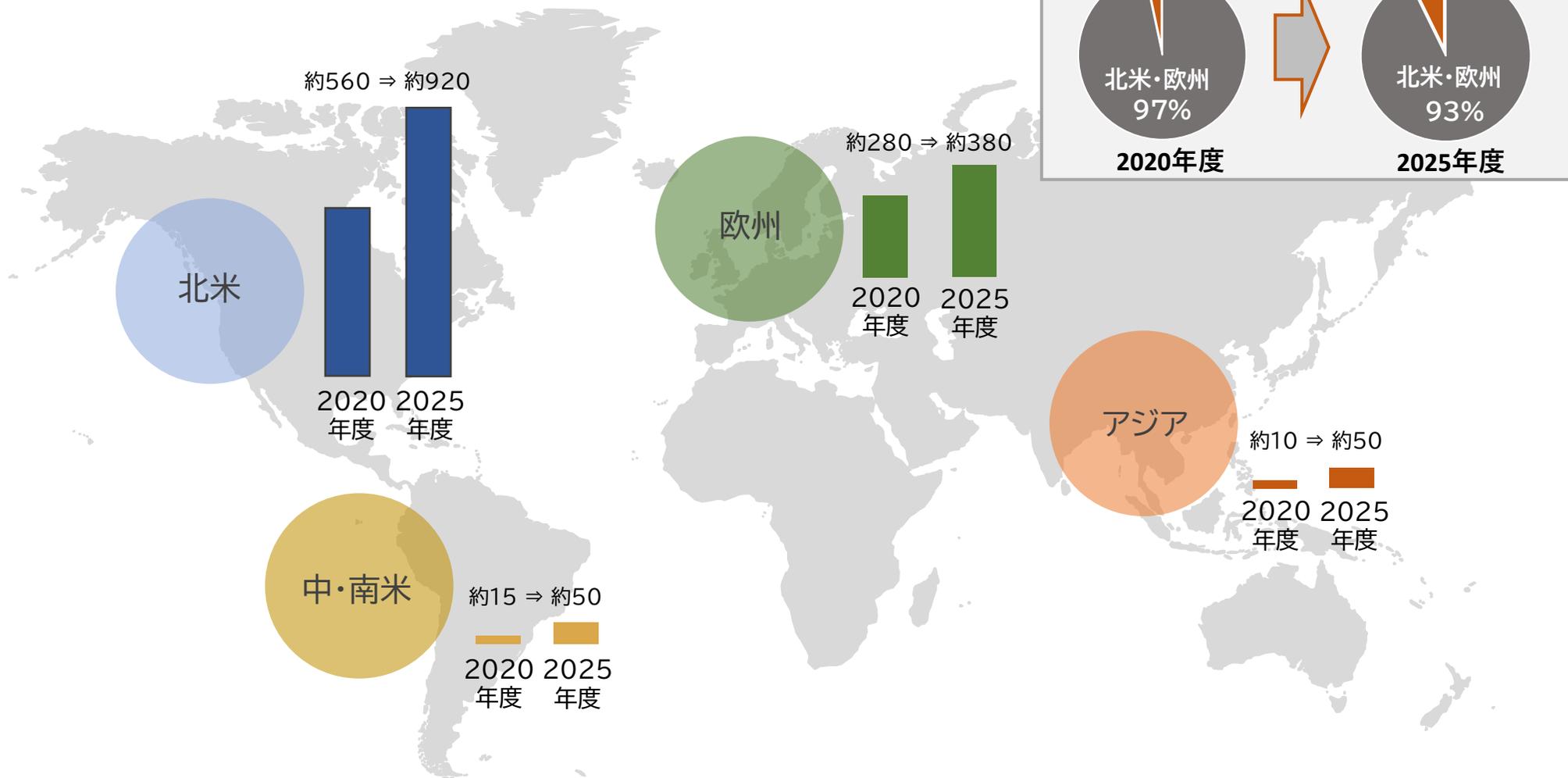
NAGASE

Prinova取扱い商品(Ingredients、Aromas)
Solutions事業のアジア展開

- : Prinovaグループ拠点
- : NAGASEグループ販売拠点

ACE 2.0期間中、北米・欧州での事業拡大に加え、アジアなど他地域での展開も加速

売上規模(単位:億円)

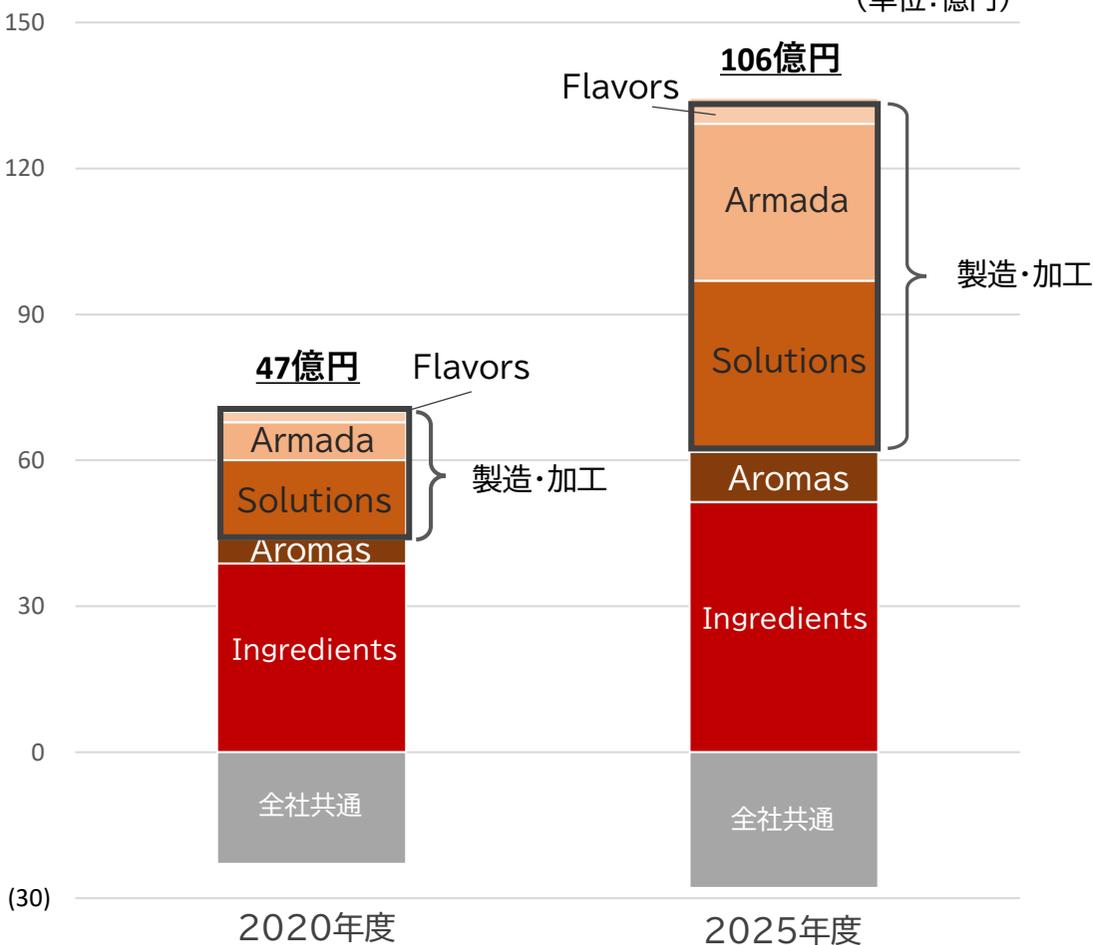


※1US\$換算レート (2020年度: 106.76円、2025年度108.7円)

Ingredients事業などのディストリビューション事業を基盤に、
付加価値の高い**製造・加工事業を拡大**

営業利益

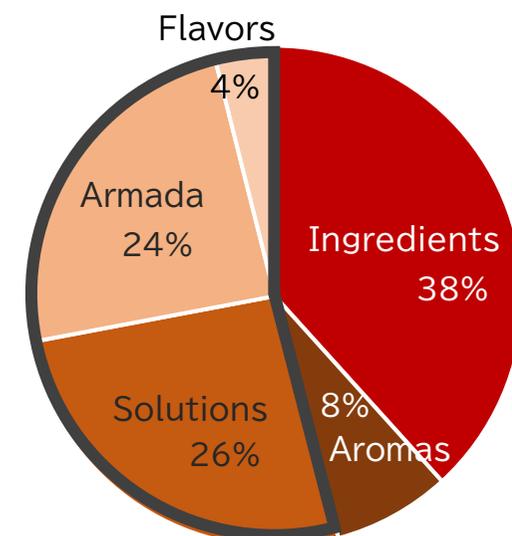
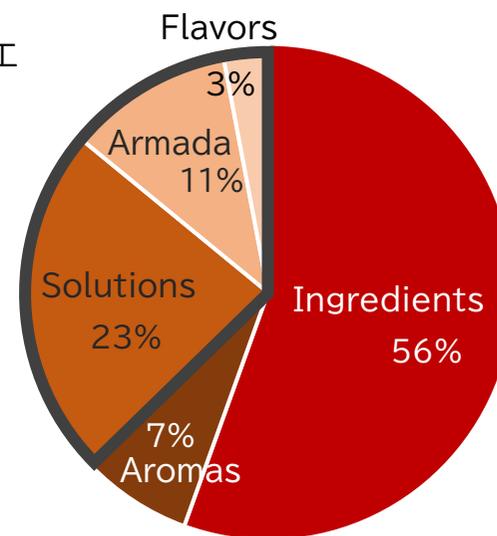
(単位:億円)



事業ポートフォリオ(営業利益)

2020年度

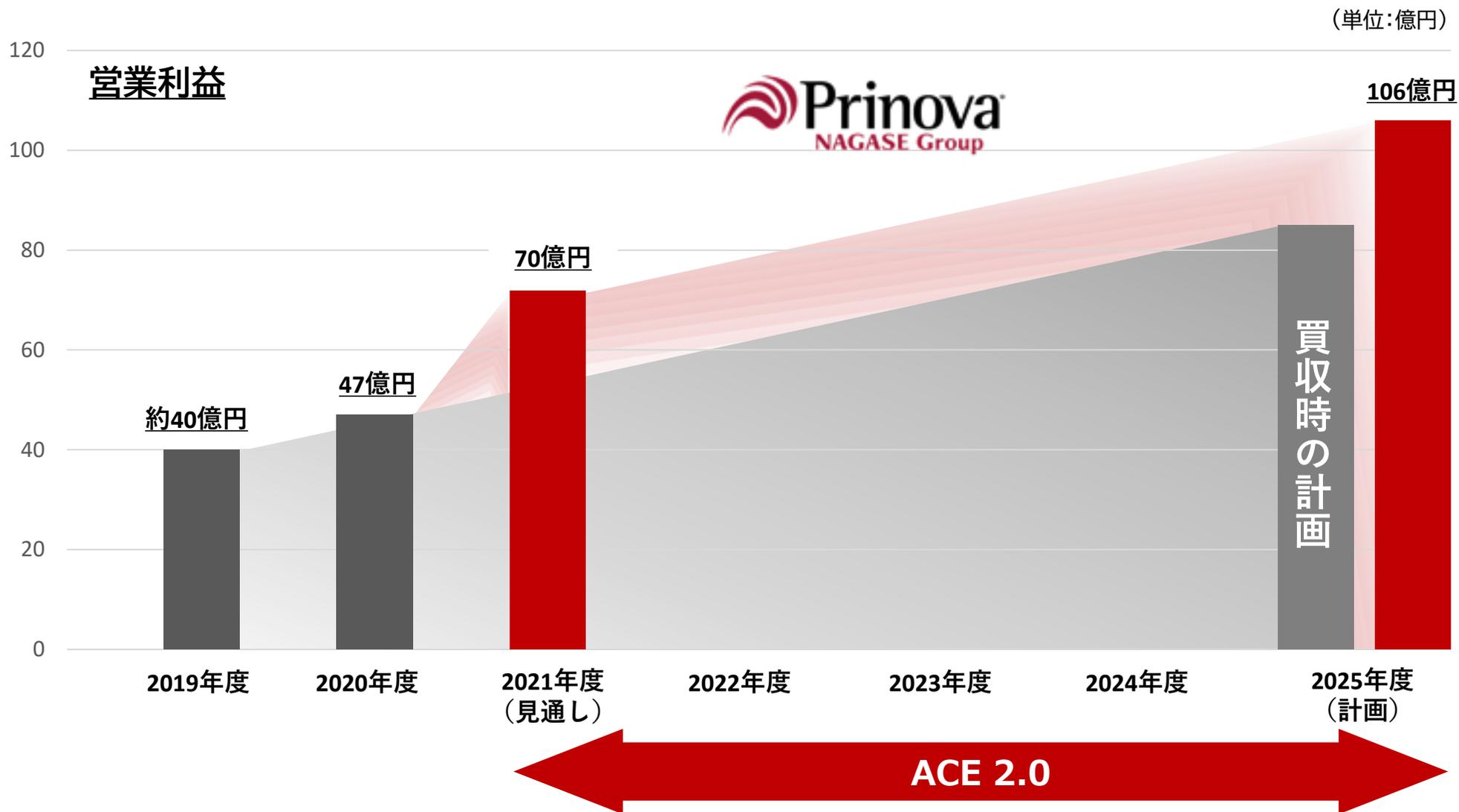
2025年度



Armada、Solutions
製造・加工事業拡大

※上記数値はPrinovaグループの業績となり、連結時に発生するのれん等の償却費は含みません。
※ 1US\$換算レート(2020年度:106.76円、2025年度108.7円)

ACE 2.0期間中に、**営業利益100億円超**を目指す(2020年度比 226%)
買収時の計画以上の成長を見込む



※上記数値はPrinovaグループの業績となり、連結時に発生するのれん等の償却費は含みません。
 ※2019年度営業利益:M&A関連の特殊経費除く
 ※2025年度営業利益:1US\$ = 108.7円で換算しております。



<https://www.nagase.co.jp/>

当プレゼンテーション資料には、2021年11月22日時点の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれています。世界経済・競合状況・為替変動等に関わるリスクや不確定要因により、実際の業績が記載の予測と異なる可能性があります。